

## 2021(令和3)年度学習成果測定アンケート実施報告(卒業時・在学生アンケート)

### 1. 学修成果測定アンケート概要

本アンケートは、大学生活での満足度やディプロマポリシーで掲げた身につく能力を測り、教育改善を行うため令和元年度から全学生を対象に実施している。

### 2. 基礎情報(卒業時アンケート)

①実施期間：令和4年3月20日(卒業式当日ガイダンス)

②対象：大学4年生、短大2年生

③総回答率：91.3%

(総回答者数=400名 内訳：大学329名/保健体育学科15名/児童教育学科56名)

※令和2年度総回答率70.8%

④実施方法：Web回答(Office365 Forms使用)

QRコードを印字した紙を配付し、卒業ガイダンス内に実施した。

※アンケート名称：「大学の学びに関するアンケート」、「短期大学の学びに関するアンケート」

### 3. 基礎情報(在学生アンケート)

①実施期間：令和4年4月5日・6日(フレッシュウィーク期間中)

②対象：大学2年～4年生、短大2年生

③総回答率：75%

(総回答者数=821名 内訳：大学767名/保健体育学科26名/児童教育学科28名)

※令和2年度総回答率49.3%

④実施方法：Web回答(Office365 Forms使用)

### 4. 設問

1) あなたにとって大学・短大で学ぶ目的は何ですか。

2) 本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。

①教室・演習室設備(机、イスなど)      ②運動施設(体育館や競技場など)      ③食堂・物販施設

④図書館      ⑤パソコン関連の設備(パソコン教室・貸出パソコン・学内WiFi・印刷環境など)

3) 本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。

①学習支援(オフィスアワー・グループ・ゼミ担任制度)

②学生生活支援(履修・学業・生活上の悩みの相談など)

③課外活動支援(クラブ活動など)      ④キャリア支援(就職相談など)

⑤奨学金など学費援助の制度      ⑥教職ラーニングステーション

4) 本学の学びについて、あなたの満足度を教えてください。

①カリキュラム(履修できる科目の種類や履修条件)      ②シラバスの記載内容

③教養科目(語学など、スポーツに関係しない科目)

④専門科目(スポーツに関する講義科目)

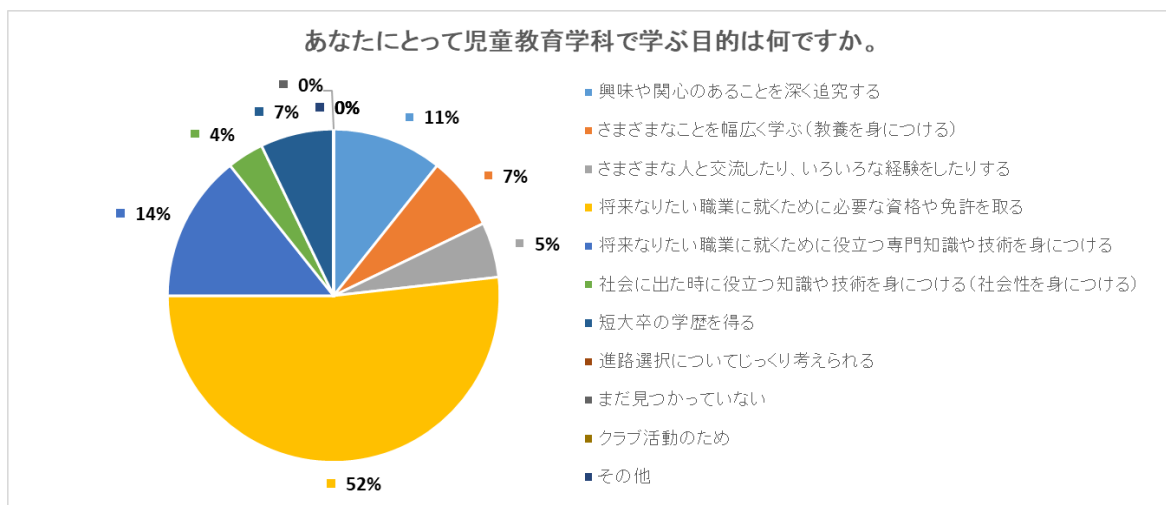
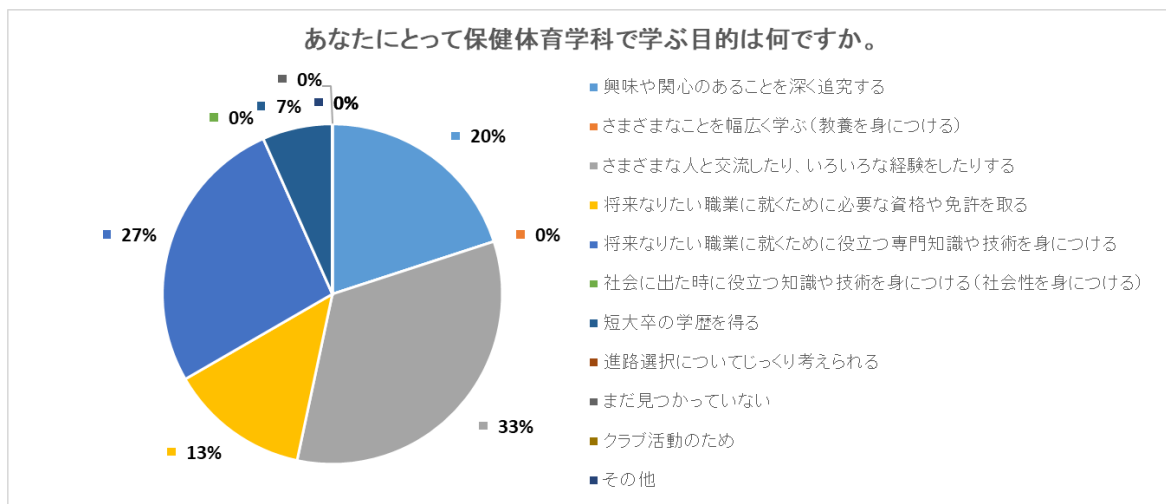
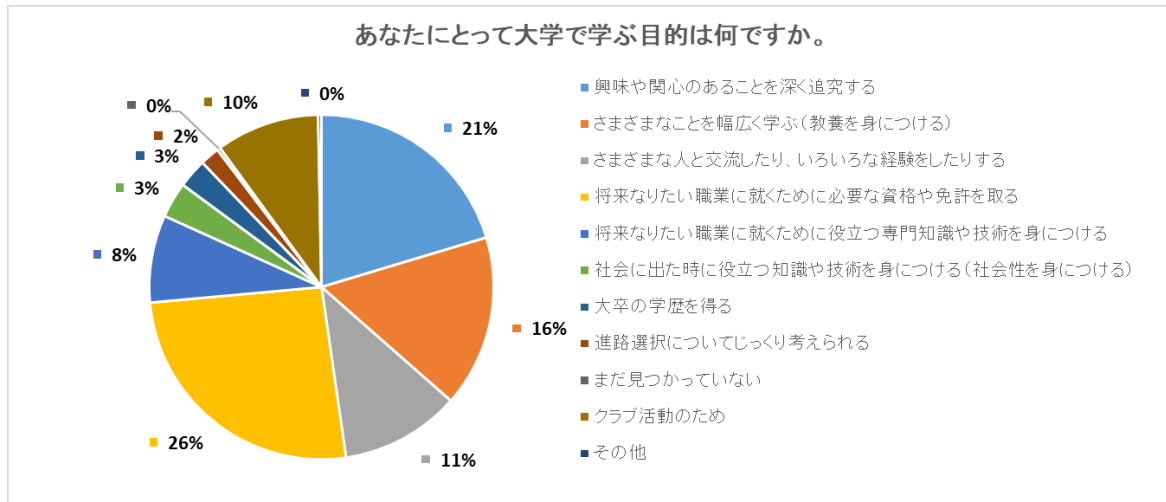
⑤実技科目      ⑥教職課程科目      ⑦成績評価

5) ディプロマポリシーの成長実感

## 5. アンケート結果（卒業時アンケート）

### 1) あなたにとって大学・短大で学ぶ目的は何ですか。

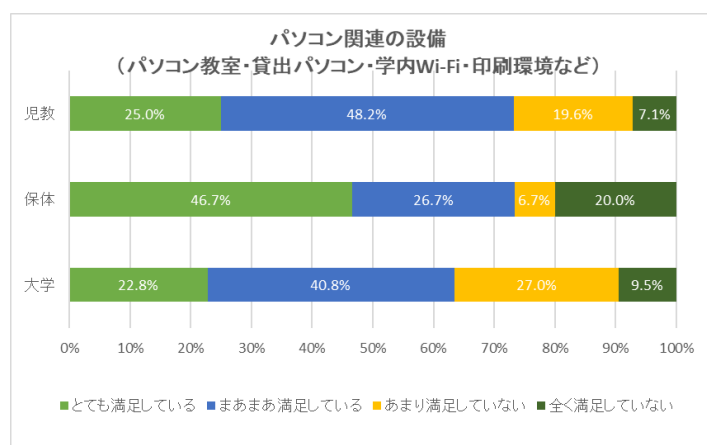
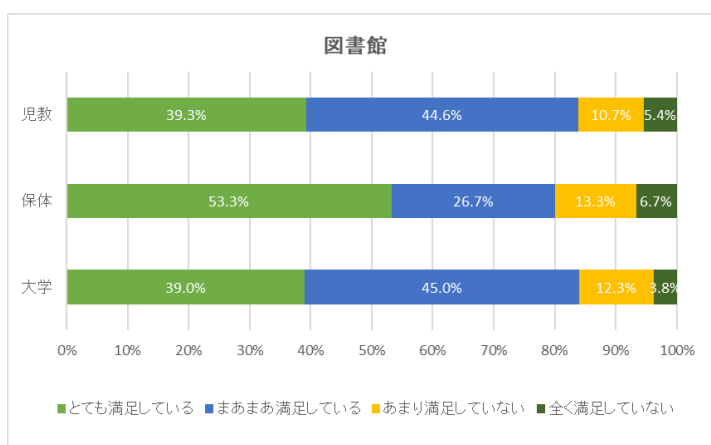
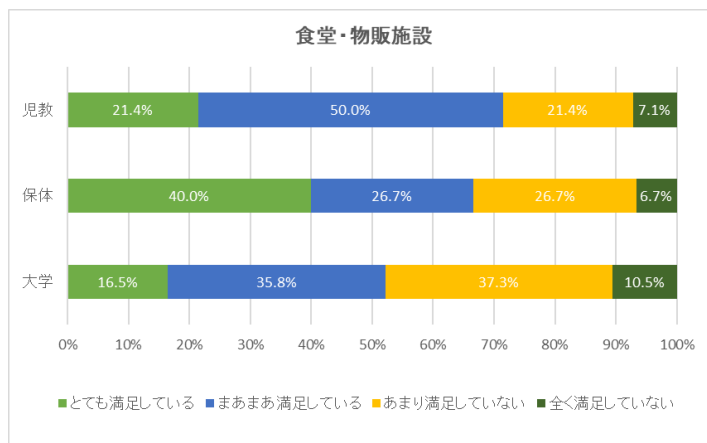
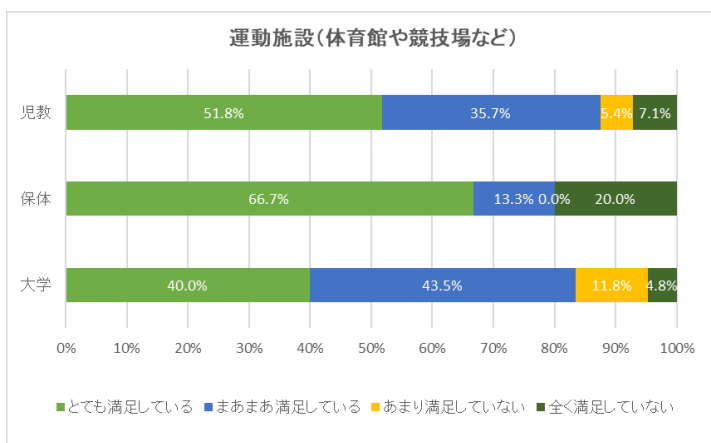
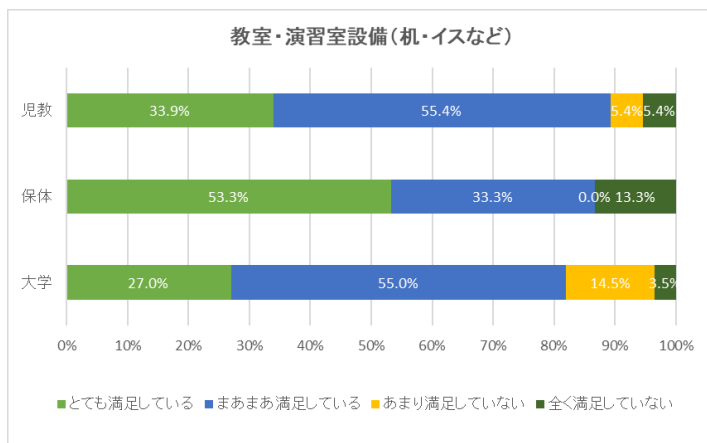
目的意識を所属別に比較した場合、大学・保体はバラつきがみられるが、児教については「将来なりたい職業に就くために資格や免許を取る」が52%、さらに「将来なりたい職業につくために専門知識や技術を身に付ける」が14%と、約70%の学生が免許・資格取得を明確に意識している。



2) 本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。

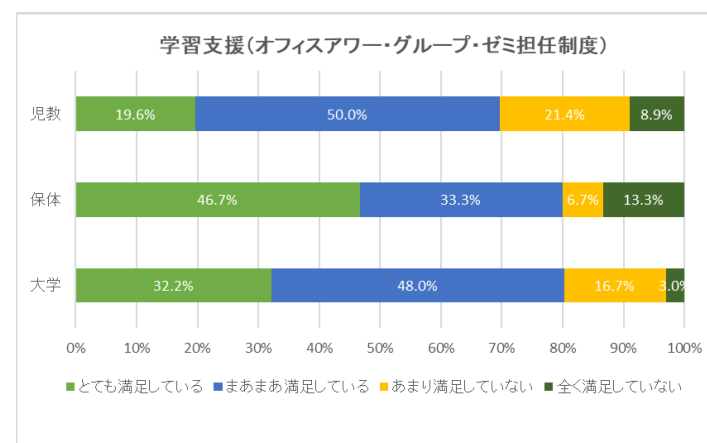
教育環境の満足度について、どの学科においても概ね満足度は高いが、「食堂・物販施設」は満足度が低い傾向にある。

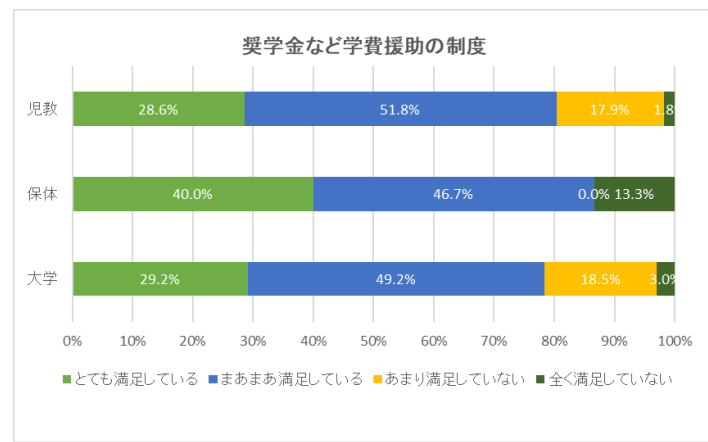
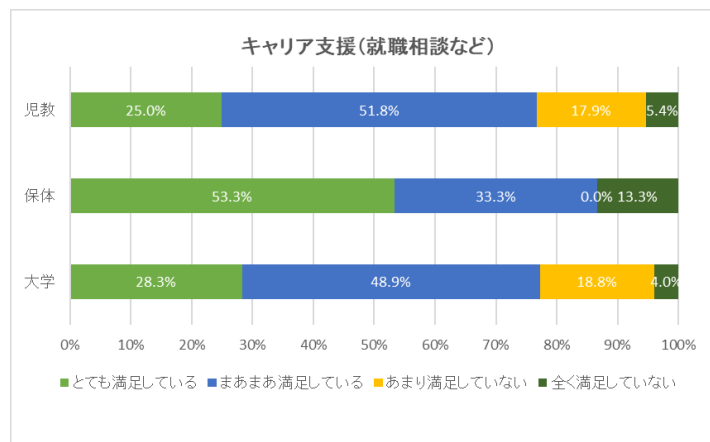
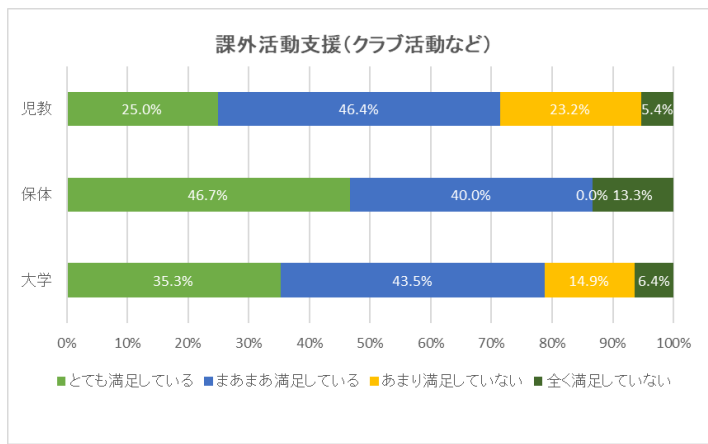
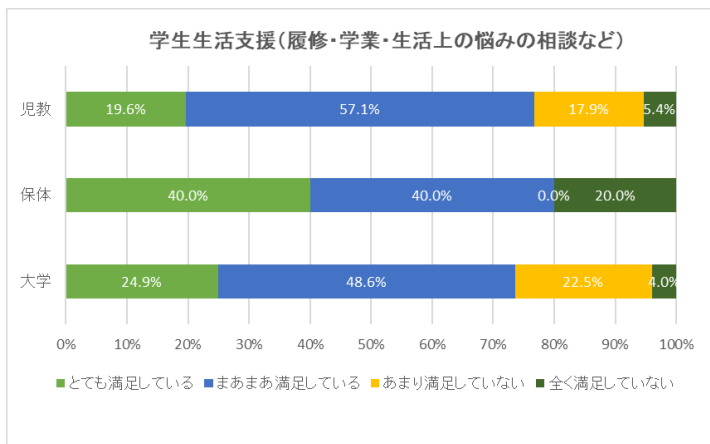
また、「パソコン関連の設備」が低くなっていることから、コロナ禍による影響で食堂やコンビニの混雑等の利用方法の不满、オンライン授業に伴う、Wi-Fi 環境への不满が影響していると考える。



3) 本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。

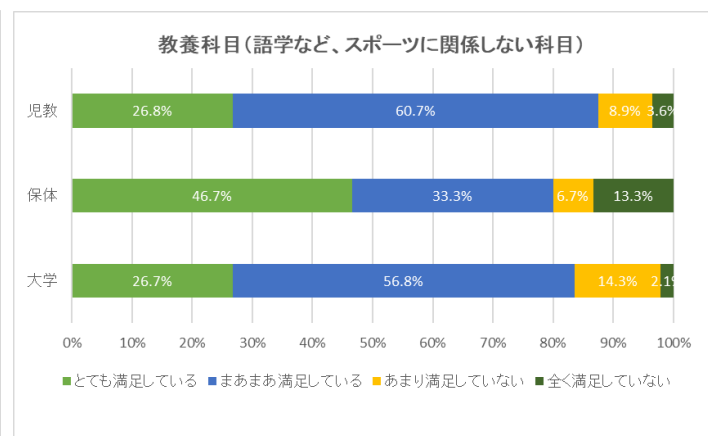
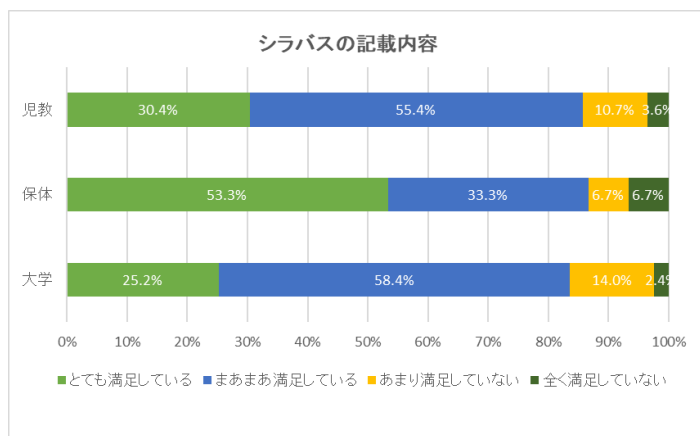
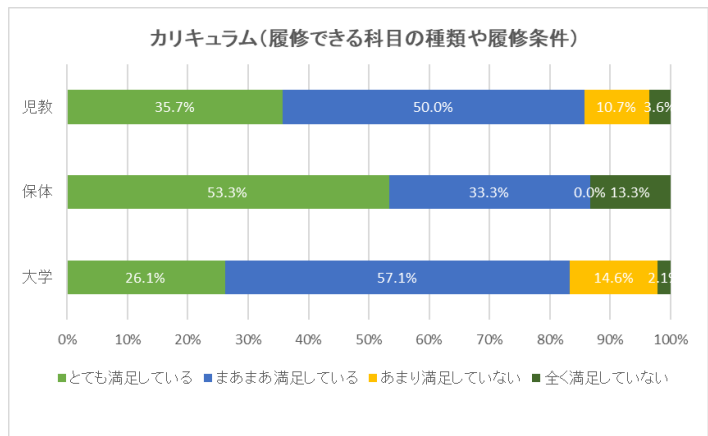
学びの支援を学科で比較すると、どの設問においても保健体育学科の満足度が高い傾向にある。この傾向については、学生数が少ないことにより、一人ひとりにきめ細かな支援が行き届いている可能性が高い。

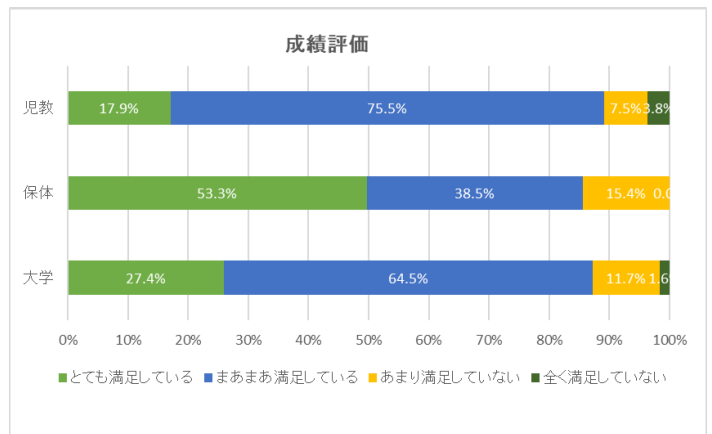
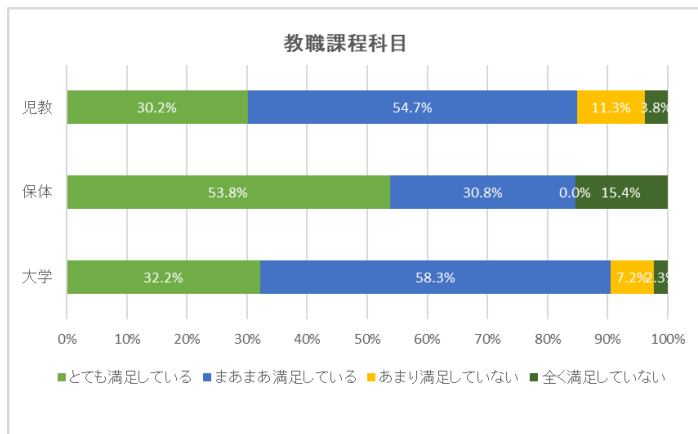
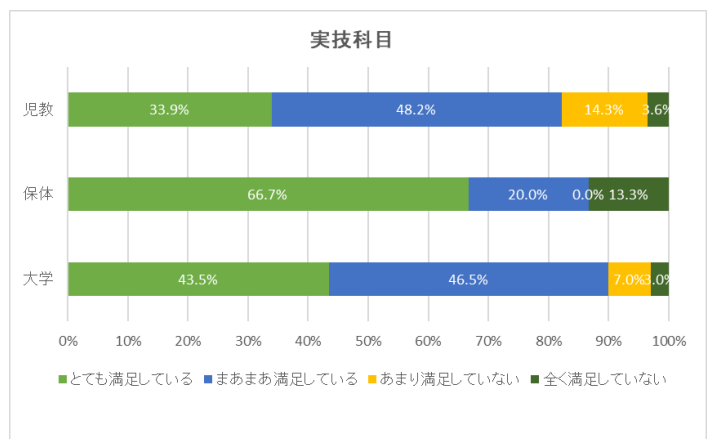
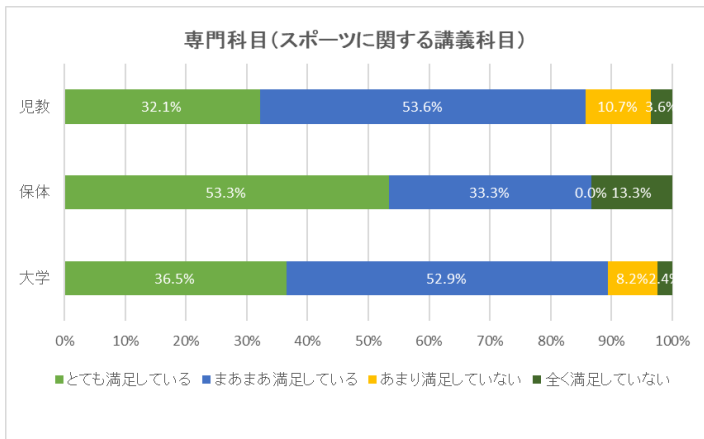




4) 本学の学びについて、あなたの満足度を教えてください。

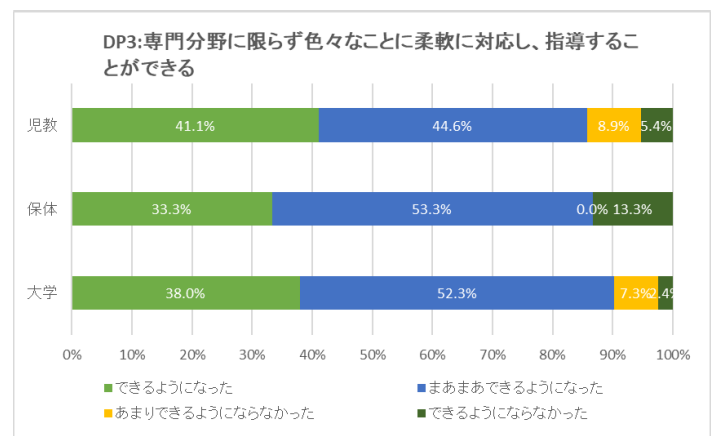
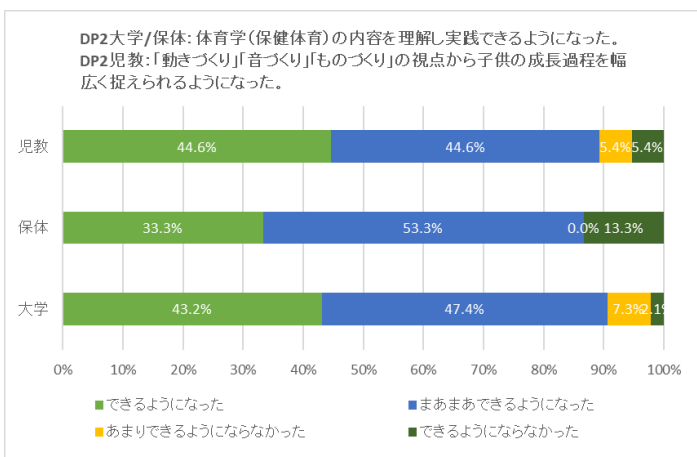
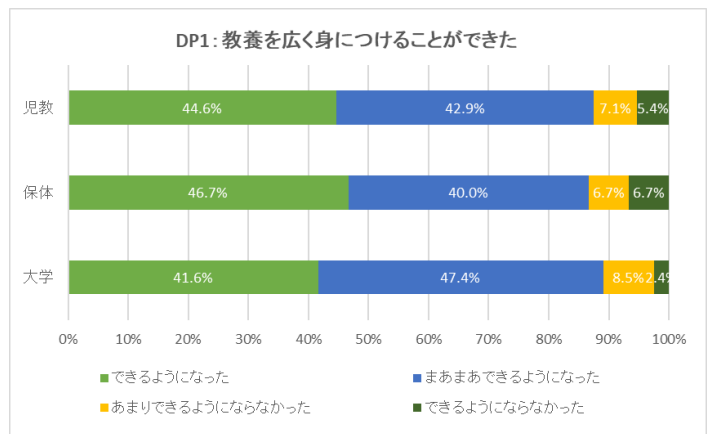
学びの支援と同様に保健体育学科の満足度が高い傾向にある。予想される理由は、上記と同じように学生数が少なくよりきめ細かな支援が受けられていることと、カリキュラムにおいて選択科目が多く自由度が高いことも満足度が高い理由の要因と考えられる。

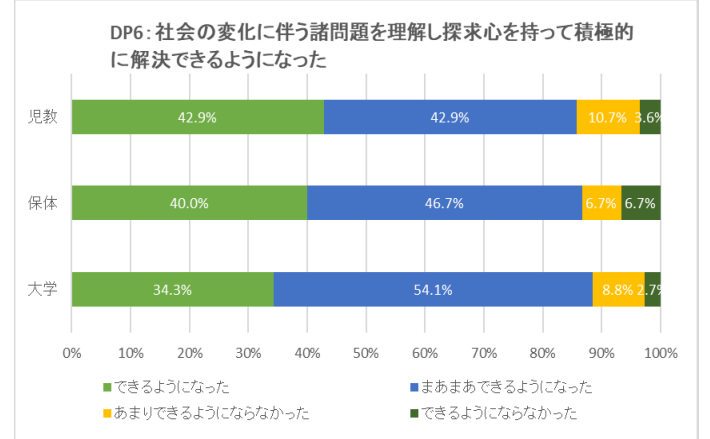
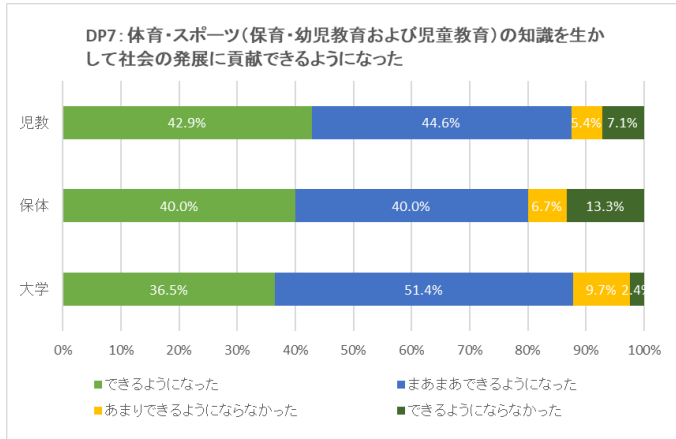
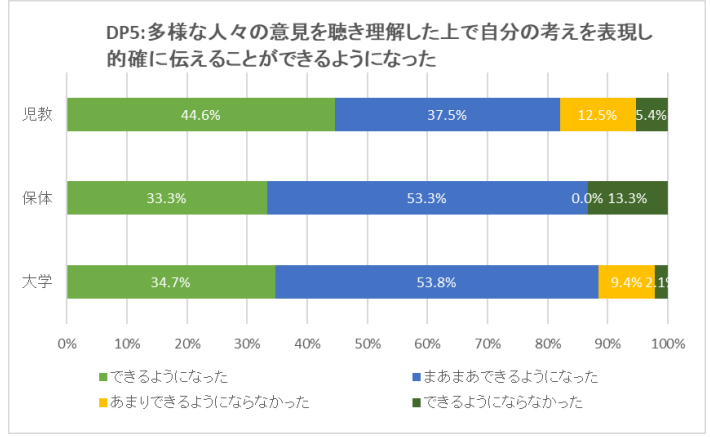
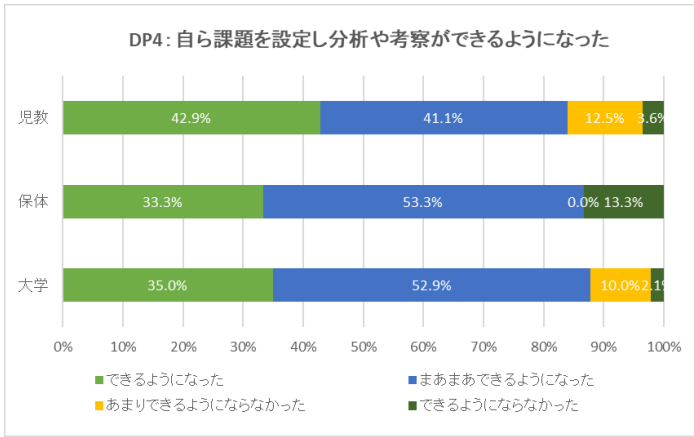




## 5) ディプロマポリシーの成長実感

本学のディプロマポリシーに掲げた身に付ける能力において卒業時にどれだけ成長実感があるか調査した。成長実感が最も多いのはDP2であり専門的な知識や技能を身に付けたと実感している学生が多いことがわかる。また、DP1・DP3についても高い傾向にあり専門分野に限らず幅広い知識や指導力を身に付けたと実感している。





#### 4. 自由記述

Q あなたにとって本学はどんな大学でしたか

「多かった意見 上位5」	回答数
楽しい大学、活気のある大学	73
たくさんのが学べた。いろいろな経験ができた。	45
大切な仲間と出会えた。友達に恵まれた。	36
部活に力を入れている	24
専門分野を学べた	16

Q あなたにとって本学の良いところはどこですか

「多かった意見 上位5」	回答数
元気。明るい。	45
実技授業が充実している。スポーツについて詳しく学べる。	36
施設・設備が充実している	31
先生との距離が近い。相談しやすい。	30
仲間で励ましあえる。みんなで成長できる。	21

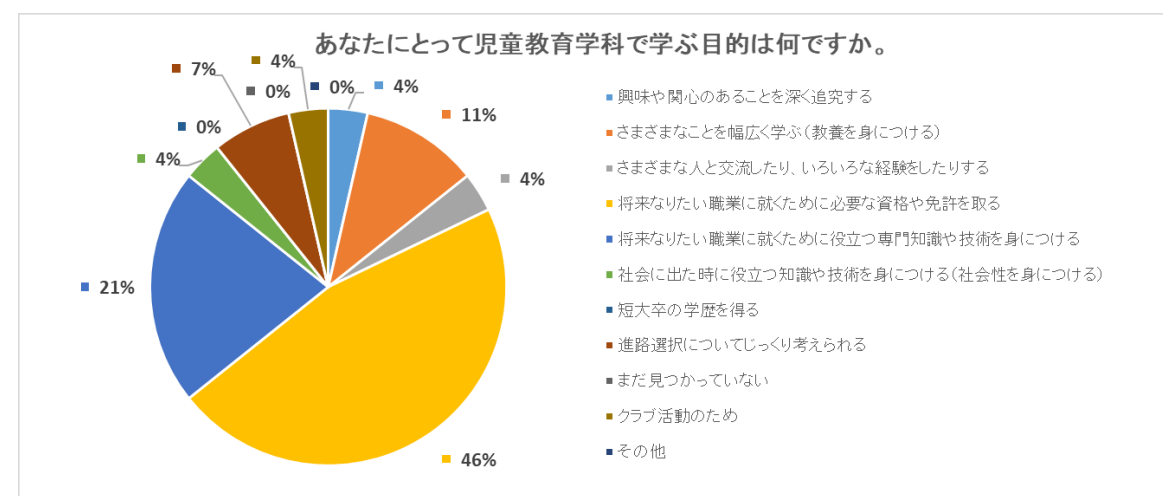
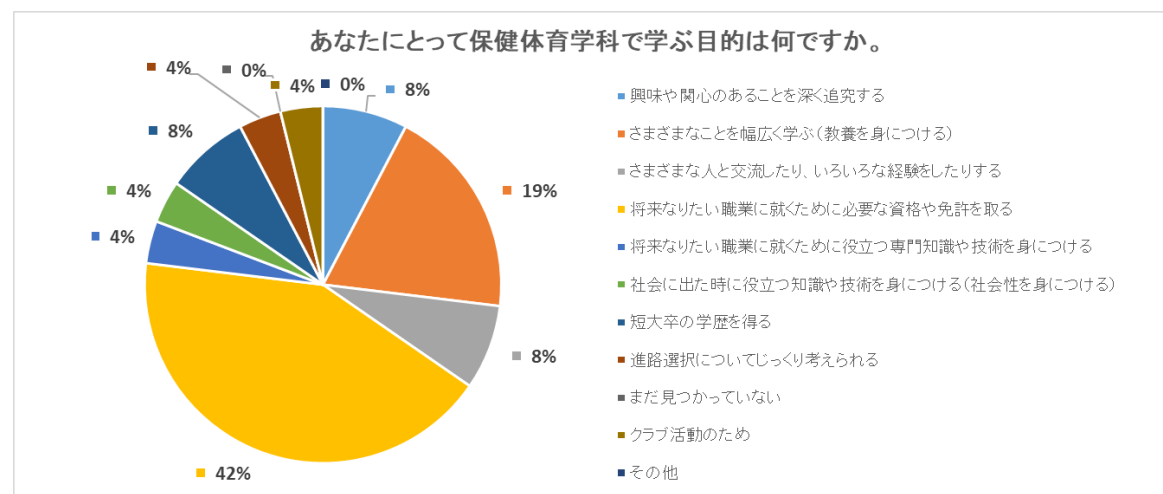
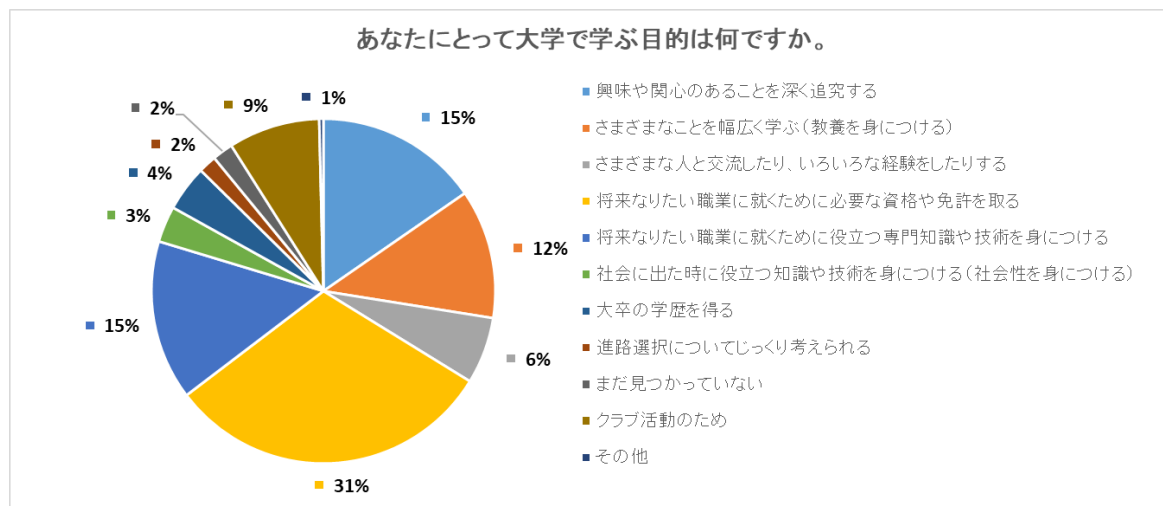
Q あなたにとって本学の悪いところはどこですか

「多かった意見 上位5」	回答数
食堂が狭い。混む。	18
施設が不十分	15
Wi-Fi、ネット環境。	14
事務職員の対応、態度。	14
教員の対応	13

## 7. アンケート結果（在学生アンケート）

### 1) あなたにとって大学・短大で学ぶ目的は何ですか。

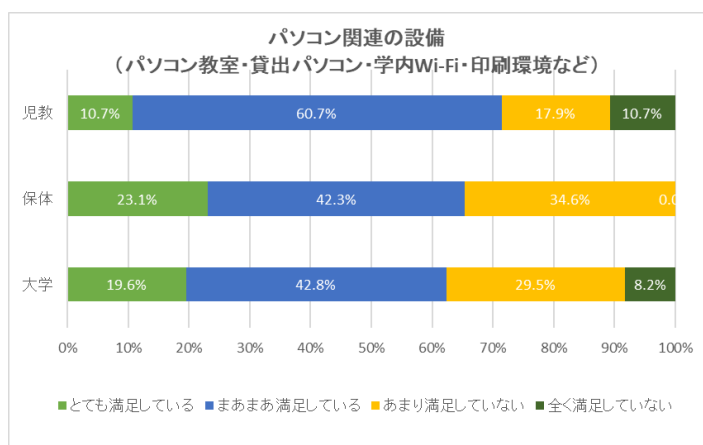
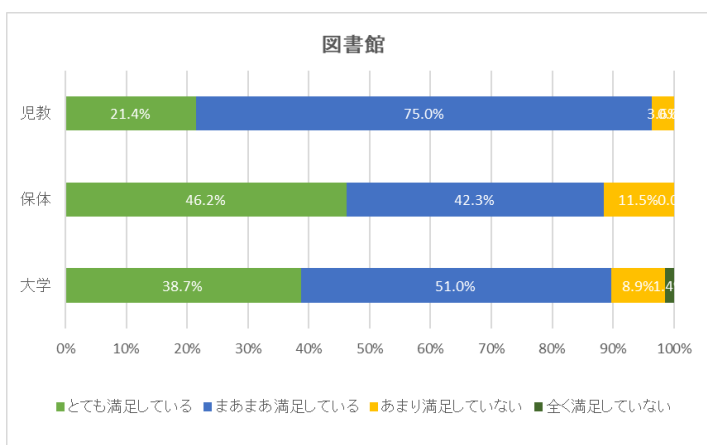
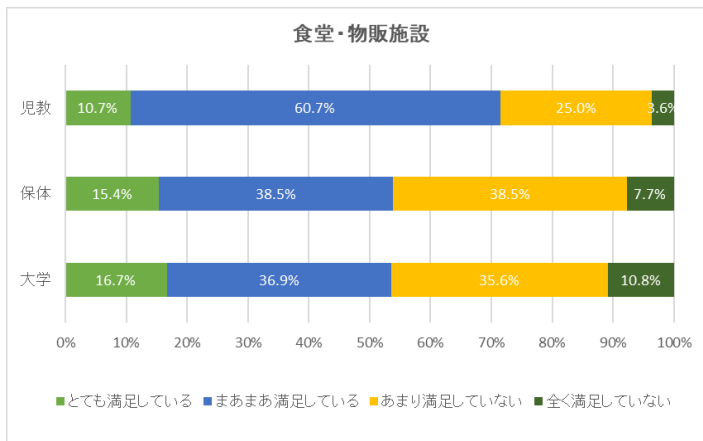
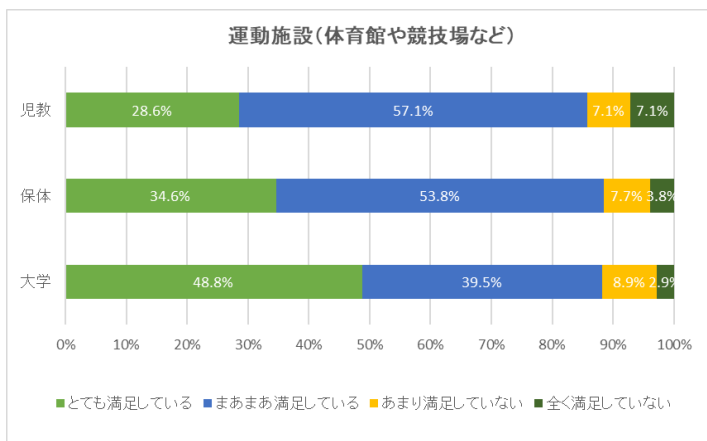
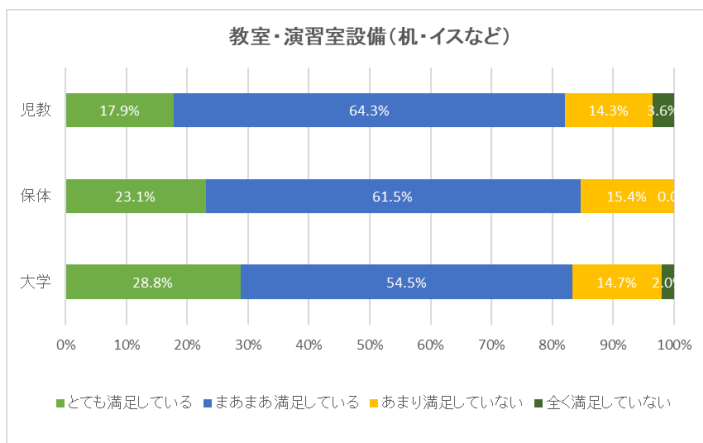
目的意識を所属別に比較した場合、大学・短大共に「将来なりたい職業に就くために資格や免許を取る」と回答した学生が多い傾向にある。特に児童教育学科は「将来なりたい職業に就くために専門知識や技術を身に付ける」も多く、学生が免許・資格取得を明確に意識している。



2) 本学の教育の環境について、あなたの満足度を教えてください。

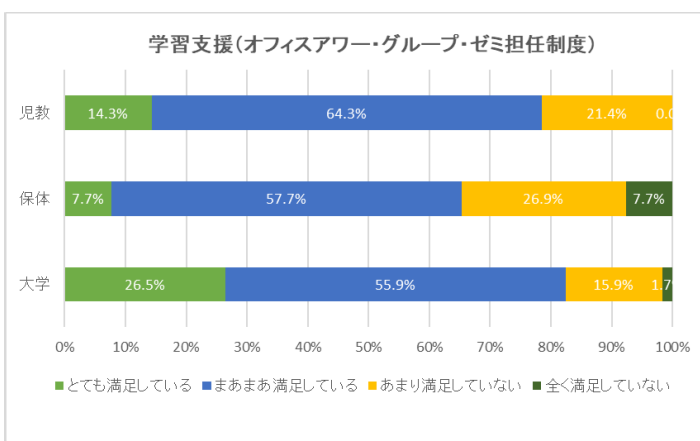
教育環境の満足度については、どの学科においても概ね満足度は高いが、卒業生と同様に「食堂・物販施設」は満足度が低い傾向にある。

食堂やコンビニの混雑等の利用方法の不満、オンライン授業に伴う、Wi-Fi 環境への不満が影響していると考えられる。

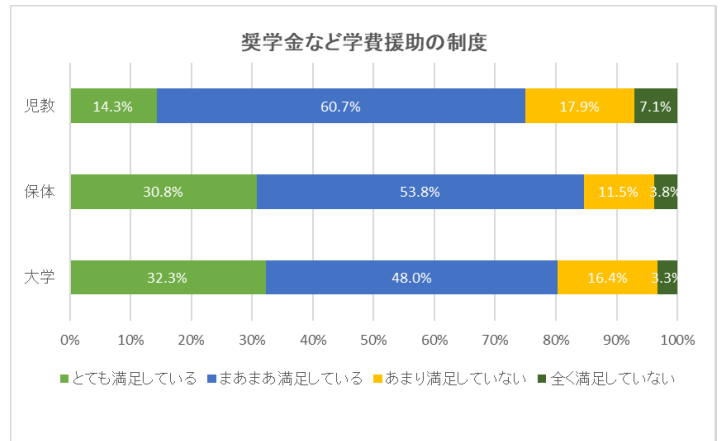
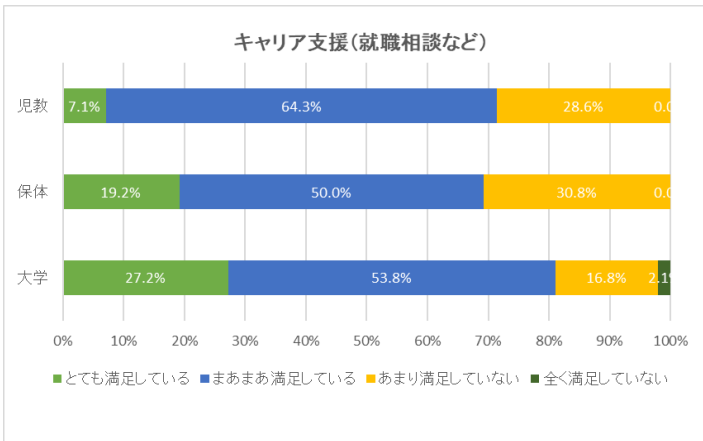
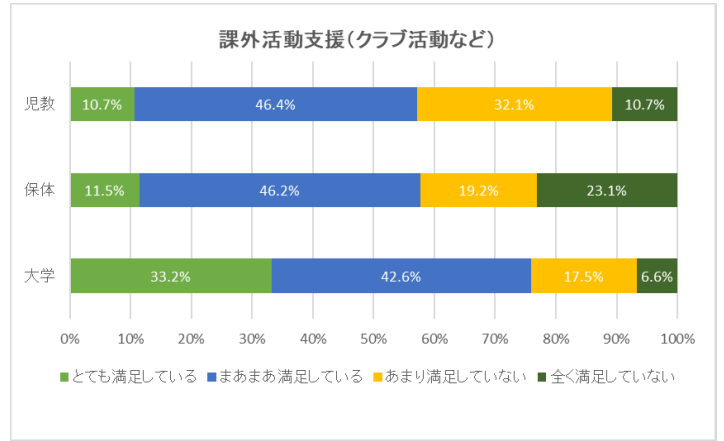
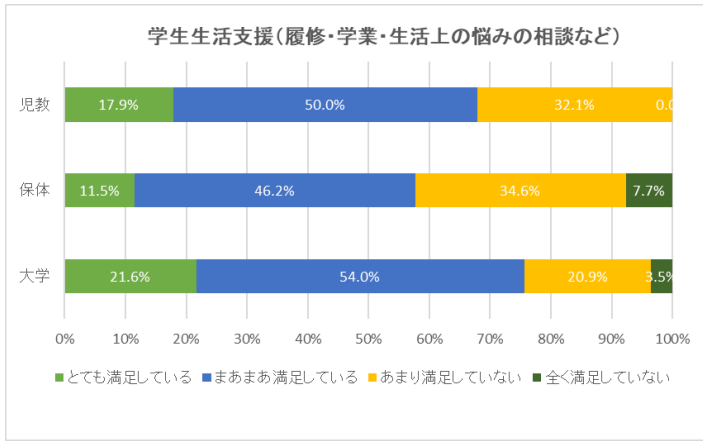


3) 本学の学びの支援について、あなたの満足度を教えてください。

学びの支援について、卒業生アンケートでは比較的満足度の高かった保健体育学科が、在学生アンケート結果においては、満足度の低い設問がある。特に学生生活支援、課外活動支援の「あまり満足していない」「全く満足していない」と回答した学生は40%を超えている。

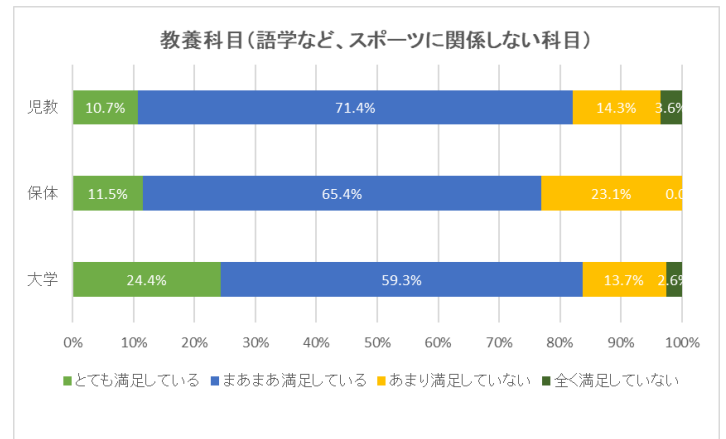
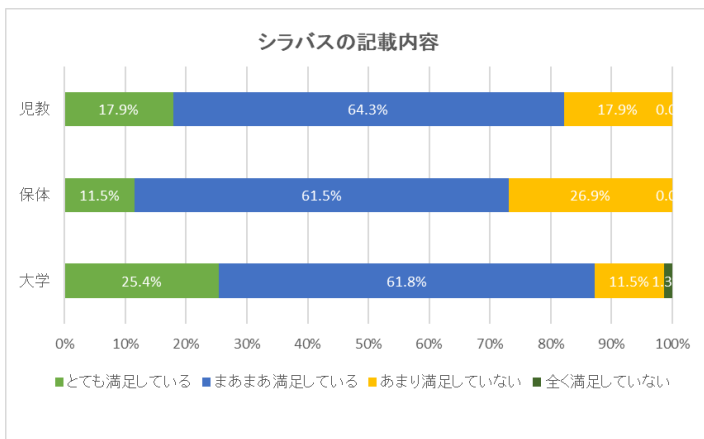
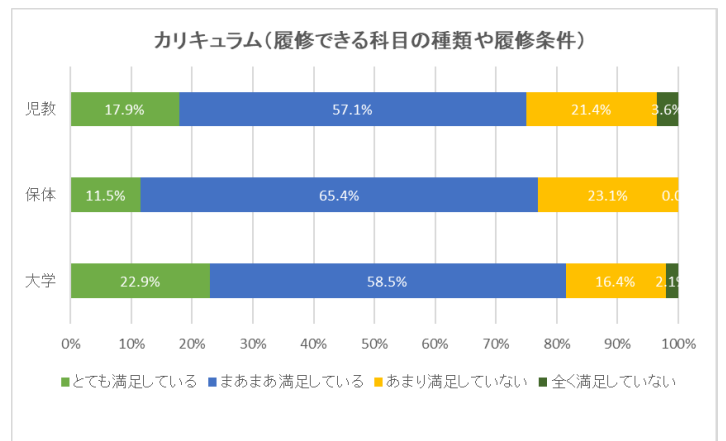


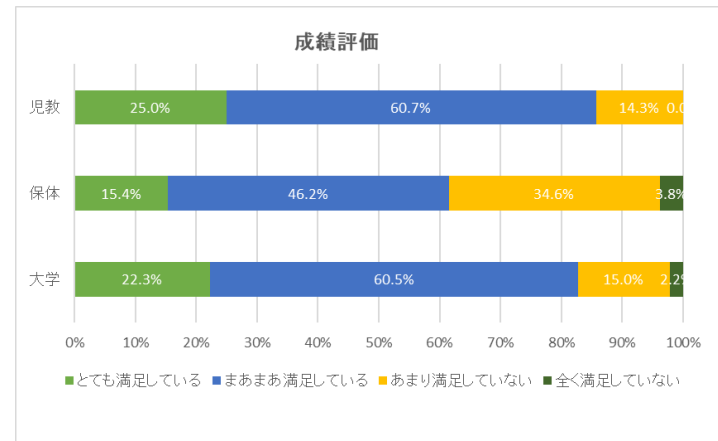
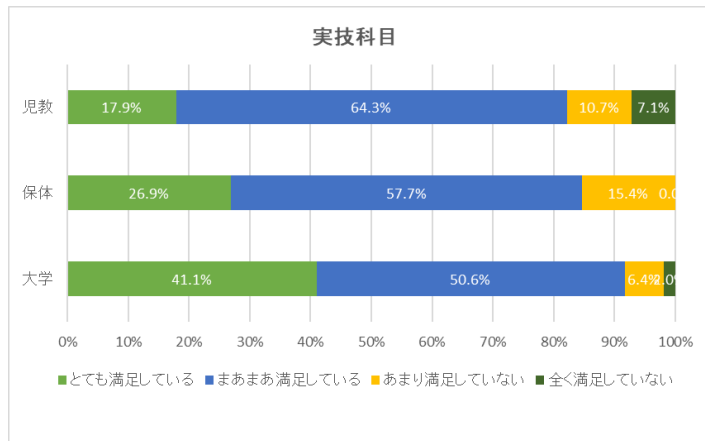
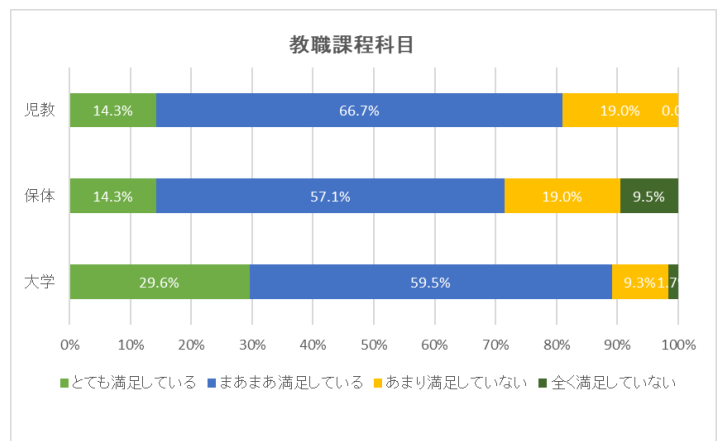
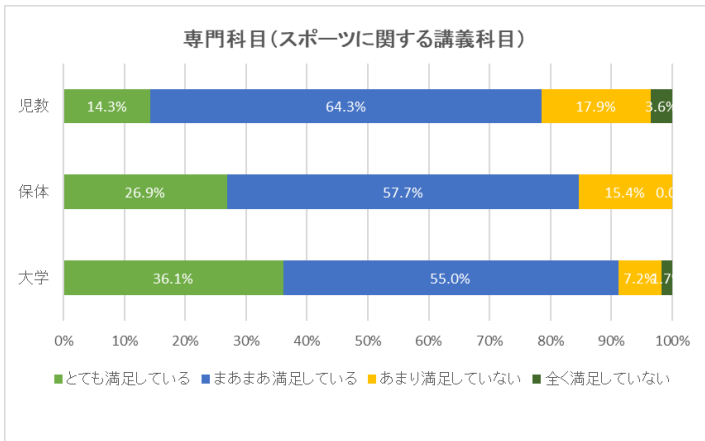




4) 本学の学びについて、あなたの満足度を教えてください。

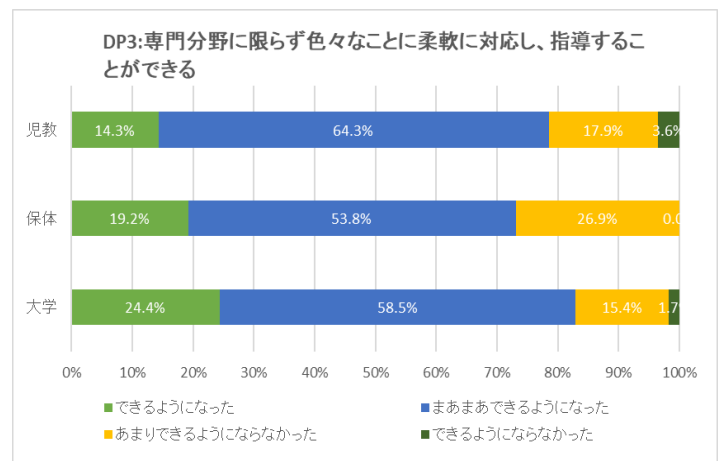
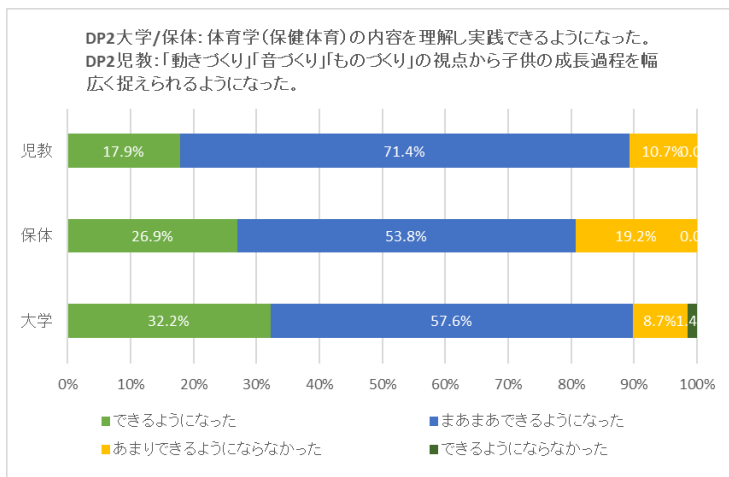
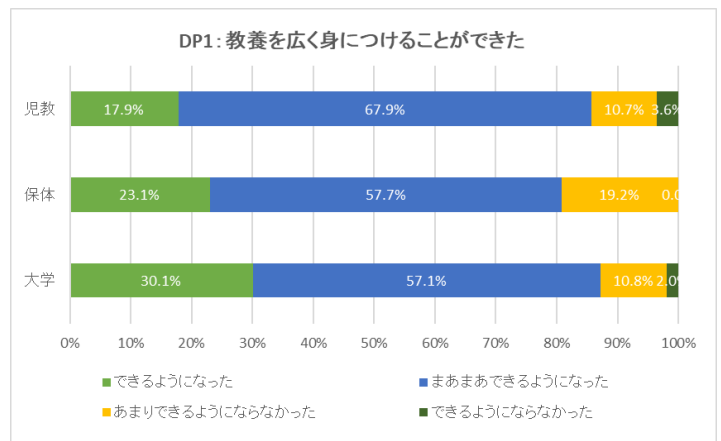
学びについての満足度は、どの学科においても概ね満足度が高い傾向にある。これらの満足度と、授業評価アンケートを関連付け、さらに分析・検証を進める必要がある。

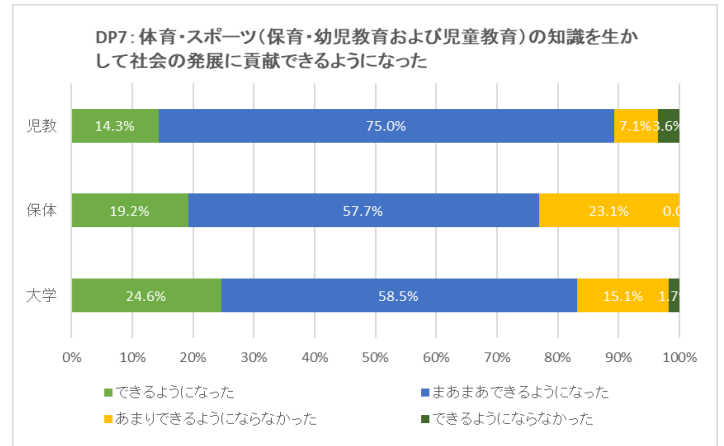
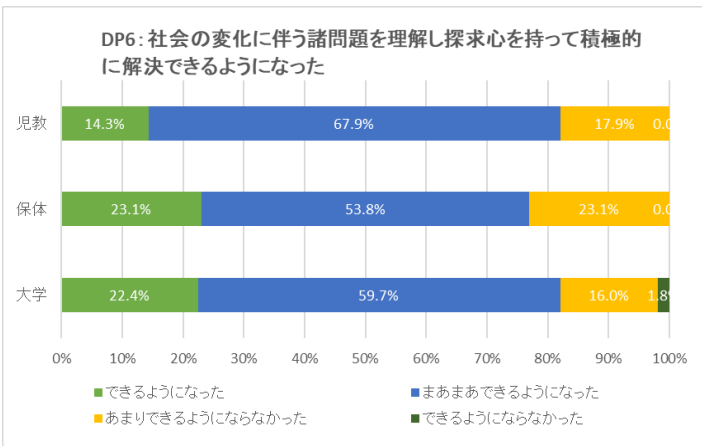
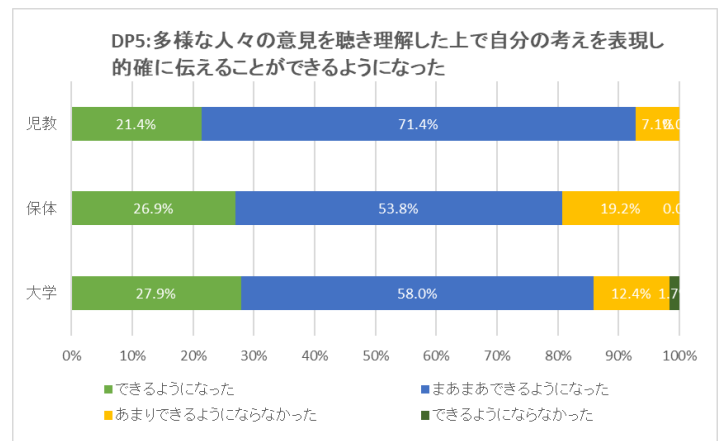
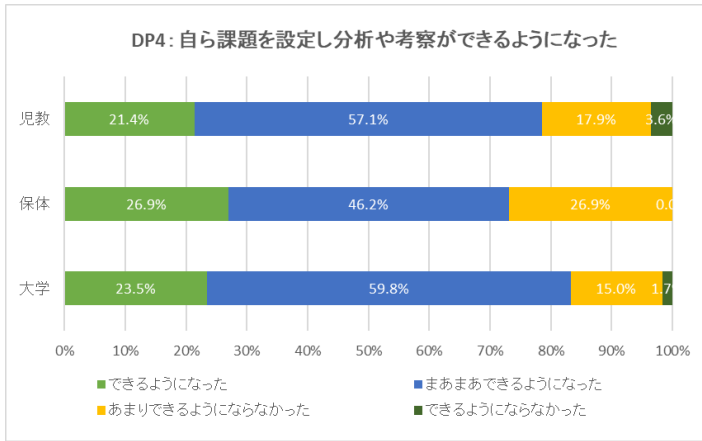




## 5) ディプロマポリシーの成長実感

本学のディプロマポリシーに掲げた身に付ける能力において1年間でどの程度成長した実感があるかを聞いた。成長実感が最も多いのはDP2であり専門的な知識や技能を身に付けたと実感している学生が多いことがわかる。





## 6. まとめ

単年度の集計結果の傾向としては、食堂・物販施設の満足度が低いことがわかる。また、自由記述にも本学の悪いところとして意見が挙げられている。この結果から、学生部および関係部署を含め検討し、改善へ取り組みを進めていく。その他の学びの支援等についての満足度やDP毎の成長実感については、授業評価、学生調査アンケート等の結果や、他のデータと絡め関連性も含め経年比較し、さらに分析・検証を進め全学的に教育の質保証および教育改善に向けて努力していく。